

# 令和4年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業



二宮町



研究テーマ（研究委託のテーマ2）

「児童・生徒の「学びに向かう力」の醸成」

研究テーマにせまるためのキーワード

児童・生徒が楽しみながら学び続ける

研究  
課題

9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通した、「学びに向かう力」の醸成と資質・能力を育む指導のあり方（2年

## 小5,6、中学全学年実施

かながわ学びづくりアンケート(16項目より抜粋掲載)

自分には、よいところがあると思いますか。

学校に行くのは楽しいと思いますか。

人の話をきちんと聞くことができますか。

自分の意見や考えをはっきりと言うことができますか。

「分からない」「教えて」と恥ずかしがらずに言えますか。

## 全ての教科・領域で育成

二宮町で取り組む汎用的な資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
①主体的に継続して勉強する	①必要な情報を集めて分析する	①多様な価値感の仲間を尊ぶ
②多様な学びで知識を吸収する	②状況に応じて適切に判断する	②互いの違いを認め合える
③知識を応用して上手に使う	③論理的で柔軟に思考する	③諦めずに自分の夢をかなえる
④自分の考えを正しく伝える		



## 目指したい授業

- ①全員が主体的に参加する
- ②思考力を養う
- ③自分達で作り上げる
- ④発言力を高める
- ⑤話し手が話しやすくなる聴き方  
考えながら聴く力を養う
- ⑥人とのかかわりで学んでいく

## 6つの手立て

- ①全員挙手
- ②ハンドサイン
- ③相互指名
- ④発言の仕方
- ⑤聴き方
- ⑥人とのかかわり

児童・生徒が楽しみながら学び続けるためには、所属する集団が受容的であること。「学びに向かう力」の醸成と資質・能力を育むには「目的に沿った話し合いができること」が支えとなる。

各校で「話し合い」を取り入れた授業研究会を都合13回開催し「目指したい授業」の理解を深めた

共通性と一貫性をもって、研究に取り組めるように5校統一の講師を派遣

元川崎市立川崎小学校長  
吉新 一之 氏

「資質・能力を育成するための主体的・対应的な話し合いの実現」



著者  
二宮町教育委員会  
二宮町教育研究所

## 研究成果

本年度も昨年度に引き続き、5校が同じ講師による手厚い指導・助言が行われ、小学校で身に付けた「話し合いの仕方」が中学校に引き継がれている場面が見られる。小・中学校で共通性と一貫性をもって取り組む成果が出始めてきている。

## 今後の課題

9年間を見通して子どもたちに必要な資質・能力をはぐくむために、異校種の取組を相互に理解すること大切だと考える。小中連携において一貫性を保つには小学校低学年から継続して取り組んでいく必要がある。

講師監修のもと、昨年度に引き続き手引き2を作成し、これに基づいて研究に取り組む